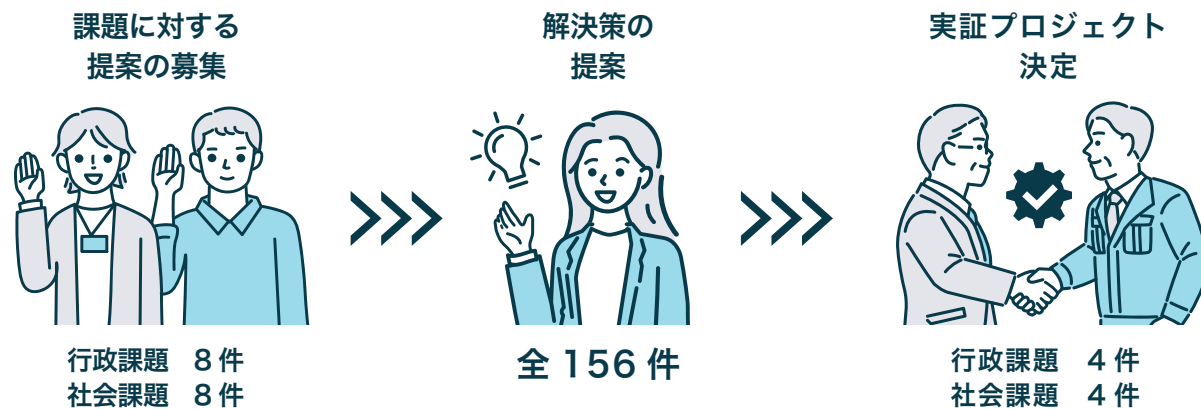


課題提示型支援事業とは

庁内から集めた行政課題や社会課題（グリーン化及び DX の特別枠を含む）に対して、先進技術を活用した解決策を企業等から広く募集し、選定・決定した実証プロジェクトに対する費用の一部負担や、専門家によるマネジメント等の支援を実施するものです。

実証プロジェクト決定までの経緯



今後のスケジュール

令和 8 年 9 月～令和 9 年 2 月	実施に向けての調整 実証実施 結果取りまとめ
令和 9 年 3 月	成果発表会

Hatch Technology NAGOYA 成果報告会のご案内

本年度の各プロジェクト（課題提示型・フィールド活用型）の取り組み内容と成果を発表する成果報告会を開催予定です。ぜひご参加ください！

- 開催時期：令和 9 年 3 月
- 場所：現地&オンライン
- 参加無料

詳細決まり次第 Web サイトでお知らせします
<https://www.hatch-tech-nagoya.jp/>



事業の詳細については、ウェブサイトをご参照ください
<https://www.hatch-tech-nagoya.jp/solution/>



先進技術社会実証支援

HATCH TECHNOLOGY NAGOYA 2026

実証プロジェクトの決定

「Hatch」とは「かえす、孵化する」を意味します。「Hatch Technology NAGOYA」は、先進技術の社会実証を支援することで、技術の研究開発や社会実装を促進する取り組みです。「課題提示型」と「フィールド活用型」の2つの支援事業を展開しています。このたび、課題提示型支援事業において支援する実証プロジェクトが決定しましたので、お知らせします。

事業主体



名古屋市
City of NAGOYA

IoT Acceleration
Nagoya city Lab

名古屋市長官庁イノベーション推進部
次世代産業振興課

☎ 052-972-2418
✉ a2417@keizai.city.nagoya.lg.jp

お問い合わせ先



Urban Innovation JAPAN

運営：

Hatch Technology NAGOYA 運営事務局
NPO法人 コミュニティリンク

✉ hatchtechnology@communitylink.jp

実証プロジェクト一覧（全8件）

行政課題 炎天下の現場巡回にさよなら — 固定資産税の農地調査 DX

実証事業者：エアロトヨタ株式会社（代表事業者）
一般財団法人リモート・センシング技術センター（共同提案）
市担当部署：財政局 固定資産税課

解決したい課題 固定資産の評価のために撮影した1月の航空写真では、農地の耕作状況の判別ができず、夏から秋に職員が現地巡視しており、業務効率化や熱中症リスクの低減が求められている。

実証内容 夏季の衛星データ（SAR・光学画像）をAIで解析し、確認が必要な地点や巡回ルートを提案するシステムを構築し、都市部の小規模農地について耕作状況を評価できるか検証する。

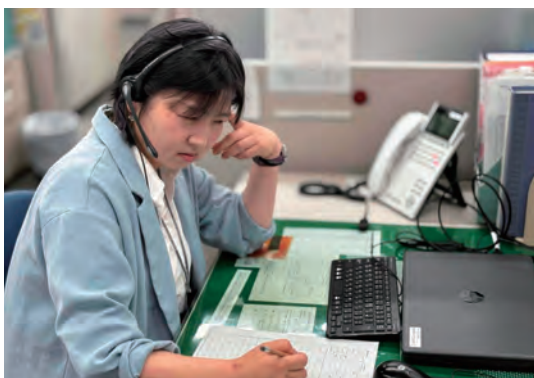


行政課題 「去り行く専門家」をAIで補いたい！消費生活相談窓口の存続危機への挑戦

実証事業者：株式会社コア
市担当部署：スポーツ市民局 消費生活課

解決したい課題 消費生活相談員は高齢化が進み、大量退職期を迎えている。消費生活相談員の育成は約5年を要し、相談の複雑化・多様化により1件あたりの対応時間も増えている。

実証内容 情報漏洩リスクを排除したクローズドAIと特許出願中の独自技術を活用し、通話内容に基づく助言候補のサジェストや相談記録の自動作成機能など、各種機能の精度を検証する。



行政課題 運動が好き、楽しい、と感じてほしい。先進技術で創る新しい学校体育！

実証事業者：株式会社ハイパーブレイン（代表事業者）
ソフトバンク株式会社（共同提案）/ エデュシップ株式会社（共同提案）
市担当部署：教育委員会事務局 学校保健課

解決したい課題 スクリーンタイムの増加等を背景に、児童・生徒の運動機会の減少と体力低下が懸念されている。映像を撮って見返すだけでは自身で改善点を見つけることが難しく、達成感も得にくい。

実証内容 AIを活用して、骨格解析による児童・生徒の動きの可視化及び、客観的なフィードバック・再挑戦を促す声掛けを行うことで、挑戦を促す体育授業をつくることができるか検証する。



行政課題 「駐車しにくい区役所」を変えたい！渋滞課題にスマート技術で挑戦

実証事業者：ランディット株式会社
市担当部署：名東区役所 総務課

解決したい課題 5か所に分散した駐車場に関する統一的な案内情報がなく、警備員による誘導を行っているものの、正面駐車場（2か所）に来庁者が集中し、駐車待ちが頻繁に発生している。

実証内容 AIカメラによる満空状況の把握や発信に加え、区の健診や繁忙日などの情報と掛け合わせた混雑予測により、駐車に要する待ち時間の短縮と渋滞緩和につながるか検証する。



社会課題（グリーン化） 水素技術の新たなユースケースを創りたい！

実証事業者：株式会社アイシン
市担当部署：経済局 次世代産業振興課

解決したい課題 水素は脱炭素化のキーテクノロジーとして幅広い分野での活用が期待され、大規模な需要創出に向けた取り組みが進められている一方、都市部における需要は限定的である。

実証内容 水素吸蔵合金から水素を取り出す際に必要な熱源に、FC（燃料電池）発電機の排熱を利用したシステムの開発により、外部電源に依存せず「どこでも」「手軽に」水素を利用できるか検証する。



社会課題（DX） 名古屋発、全国の客引き問題を解決する防犯モデルを創りたい！

実証事業者：株式会社 HULIX
市担当部署：スポーツ市民局 地域安全推進課

解決したい課題 条例に基づき指導員が繁華街を巡回しているが、客引き行為者に指導員の位置情報をSNS等で共有され、巡回ルートを先読みされる状況が発生するなど、抑止力が低下している。

実証内容 AIカメラによる客引き行為の識別・音声警告に加え、指導実績やカメラの検知結果等から最適な確認経路を指導員に提示するシステムにより、効果的な介入を実現できるか検証する。



社会課題（DX） 地下に潜む危険をゼロに — 無人点検 × AI診断で下水道管調査 DX の高度化実証 —

実証事業者：大成建設株式会社（代表事業者）/ JP Drone 株式会社（共同提案）
市担当部署：上下水道局 保全課

解決したい課題 中大口径の下水道管調査は、危険な環境下における作業となることから、安全性の確保が課題である。また、人材不足が深刻化する中、撮影した映像の診断に多くの時間を要することから、診断作業の効率化が課題である。

実証内容 ドローンが管内の中心を進むことをアシストするソフトウェアの開発を行い、人が管内に入らず撮影可能か、また、撮影した画像をAIにより診断することで、診断作業の効率化に繋がるかを検証する。



社会課題 街路樹点検の新技术実証！全国でも多発している倒木事故を減らしたい！

実証事業者：古河電気工業株式会社
市担当部署：緑政土木局 緑地維持課

解決したい課題 9万本の街路樹に対し、月1回の巡視と年1回の点検を人手で行っているが、コストと時間の両面で業務負担が大きく、また、判定のばらつきや見逃しのリスクも存在する。

実証内容 樹木医の知見を学習させたAIにより、車載カメラ等による映像から、異常の兆候がある樹木をスクリーニングするシステムにより、点検効率化と倒木被害への有効性を検証する。

